

# 日本とカザフスタンとの 経済関係の現状と展望

---

2014年4月17日

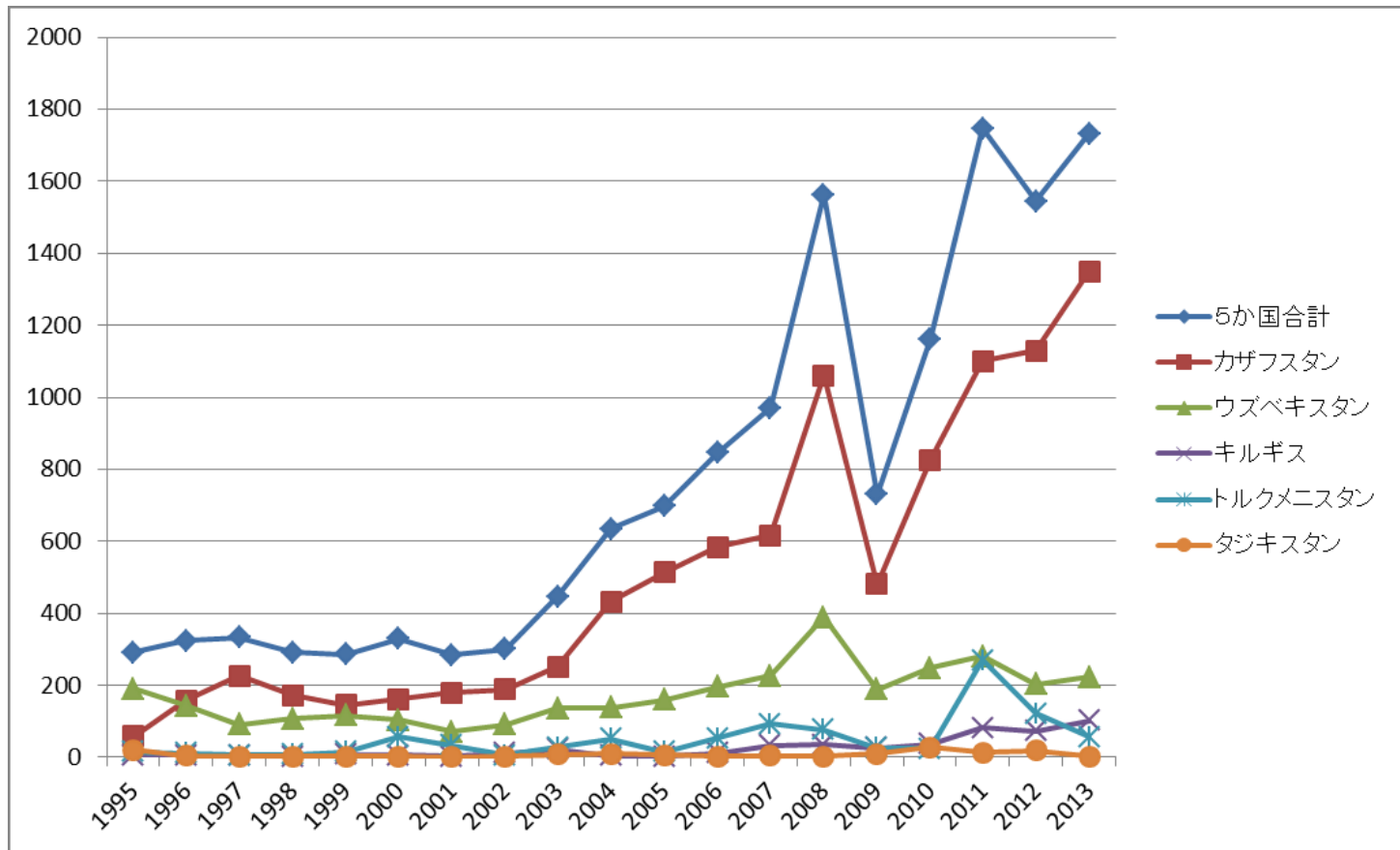
於:FEC「カザフスタンフォーラム」

(一社)ロシアNIS貿易会ロシアNIS経済研究所

輪島実樹

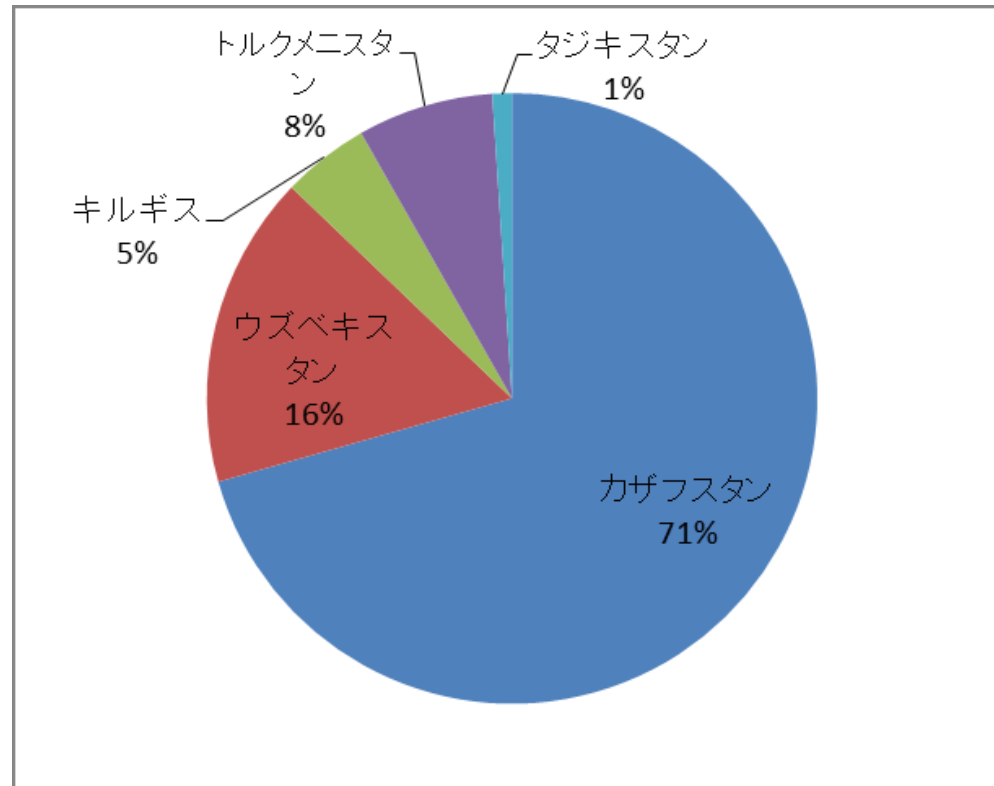
# 日本と中央アジア諸国の貿易総額の推移 (1995～)

(単位 100万ドル)



(出所) 日本財務省発表の貿易統計に基づき、ドル換算。

# 日本と中央アジア諸国の 過去5年間平均貿易総額に占める各国の割合



(出所) 日本財務省発表の貿易統計に基づき、ドル換算。

# 日本の対中央アジア諸国主要貿易品目とそのシェア

		カザフスタン				ウズベキスタン				トルクメニスタン				キルギス				タジキスタン			
		輸出	(%) <sup>1)</sup>	輸入	(%) <sup>2)</sup>	輸出	(%) <sup>1)</sup>	輸入	(%) <sup>2)</sup>	輸出	(%) <sup>1)</sup>	輸入 <sup>5)</sup>	(%) <sup>2)</sup>	輸出	(%) <sup>1)</sup>	輸入	(%) <sup>2)</sup>	輸出	(%) <sup>1)</sup>	輸入	(%) <sup>2)</sup>
1995年	1位品目	バス、トラック	39.9	フェロアロイ	43.9	一般機械 <sup>3)</sup>	43.8	金 (非貨幣用)	90.0	鉄鋼	55.8	収集品・標本	70.1	繊維機械	32.9	希土類	87.3	タバコ	35.3	こっとう	78.2
	2位品目	乗用車	18.8	チタン、チタン製品	22.2	金属製品	18.7	綿花	6.8	繊維機械	29.9	綿花	26.2	建設機械	23.5	無機化合物	10.7	化学品	23.7	アルミニウム	20.1
	3位品目	電気機器	14.8	精製銅、銅合金	8.5	鉄鋼	16.4	-	-	食料品	7.8	-	-	化学品	9.8	-	-	輸送用機器	23.5	-	-
2000年	1位品目	一般機械	25.1	フェロアロイ	73.6	電気機器 <sup>4)</sup>	37.9	金 (非貨幣用)	76.5	建設・鉱山用機械	65.3	綿花	95.5	電話機	65.3	希土類、水銀等	50.1	一般機械 <sup>3)</sup>	86.1	石油コークス、 石油残留物等	55.3
	2位品目	鋼管	18.9	チタン、チタン製品	8.5	一般機械 <sup>5)</sup>	36.2	繊維製品	15.7	その他一般機械	16.0	-	-	タイヤ	9.0	履物	30.3	金属・同製品	7.9	動物	23.7
	3位品目	輸送用機器 <sup>3)</sup>	17.0	チタン以外のレアメタル	5.5	ゴム製品 <sup>6)</sup>	7.3	綿花	7.4	鉄鋼	3.9	-	-	金属・同製品	7.0	-	-	-	-	-	-
2005年	1位品目	乗用車	55.1	フェロアロイ	94.3	一般機械 <sup>7)</sup>	20.0	金 (非貨幣用)	74.6	建設・鉱山用機械	78.3	繊維製品	100.0	タイヤ	45.5	無機化合物	44.0	建設機械	40.7	こっとう	82.4
	2位品目	バス、トラック	12.4	チタン、チタン製品	3.4	ゴム製品 <sup>8)</sup>	16.1	無機化合物	14.7	その他一般機械	13.0	-	-	乗用車	25.3	アルミニウム	21.8	通信機器	23.6	収集品・標本	16.5
	3位品目	一般機械 <sup>4)</sup>	9.4	-	-	通信機器	15.1	-	-	-	-	-	-	再輸出、特殊取扱品	6.4	鉄鋼屑・再溶解用塊	11.0	ガラス	11.1	-	-
2010年	1位品目	乗用車	61.7	フェロアロイ	94.3	バス、トラック	29.4	金 (非貨幣用)	99.1	タイヤ	31.2	植物性原材料	57.3	乗用車 <sup>3)</sup>	62.5	無機化合物	51.1	乗用車	26.4	アルミニウム	99.9
	2位品目	バス、トラック	9.1	チタン、チタン製品	2.3	バス、トラック 用シャーシ	23.8	-	-	鉄鋼	24.4	繊維製品	42.7	タイヤ	17.9	一般機械 <sup>4)</sup>	24.7	再輸出、特殊取扱品	13.8	-	-
	3位品目	建設・鉱山用機械	7.4	-	-	タイヤ	17.0	-	-	一般機械	19.6	-	-	再輸出、特殊取扱品	7.9	動物性原材料	10.4	電気機器	13.3	-	-
2012年	1位品目	乗用車	58.4	フェロアロイ	92.3	バス、トラック	45.4	金 (非貨幣用)	98.1	建設・鉱山用機械	27.2	航空機類	60.9	乗用車 <sup>5)</sup>	58.8	非鉄金属	57.6	プラスチック	53.1	アルミニウム	92.1
	2位品目	鋼管	10.6	チタン、チタン製品	2.5	バス、トラック 用シャーシ	19.3	-	-	電気機器	21.4	-	-	建設・鉱山用機械	24.0	精密機器類	30.4	電気機器 <sup>4)</sup>	22.4	-	-
	3位品目	建設・鉱山用機械	8.4	-	-	タイヤ	14.8	-	-	鉄鋼	9.1	-	-	再輸出、特殊取扱品	4.4	-	-	一般機械	9.1	-	-
2013年	1位品目	乗用車	55.4	フェロアロイ	82.6	バス、トラック	41.8	金 (非貨幣用)	96.3	建設・鉱山用機械	32.6	衣類	83.9	乗用車 <sup>6)</sup>	76.2	非鉄金属	80.4	食料品	26.0	甘草液汁・エキス	98.8
	2位品目	鋼管	15.8	原油及び粗油	8.7	バス、トラック 用シャーシ	14.0	-	-	繊維機械	25.0	-	-	原料別製品	8.4	バッグ類	9.7	輸送用機器 <sup>5)</sup>	21.2	-	-
	3位品目	建設・鉱山用機械	7.0	非鉄金属	6.2	タイヤ	9.1	-	-	タイヤ	13.1	-	-	再輸出品	7.9	-	-	電気機器	17.0	-	-

(出所)日本の財務省発表の貿易統計に基づき、(一社)ロシアNIS貿易会作成。

# 日本の対中央アジア諸国主要貿易品目と輸出入額

(単位 1,000ドル)

		カザフスタン				ウズベキスタン				トルクメニスタン				キルギス				タジキスタン			
		輸出	1)	輸入	1)	輸出	1)	輸入	1)	輸出	1)	輸入	1)	輸出	1)	輸入	1)	輸出	1)	輸入	1)
1995年	1位品目	バス、トラック	6,333	フェロアロイ	18,416	一般機械 <sup>3)</sup>	35,594	金 (非貨幣用)	98,434	鉄鋼	4,920	収集品・標本	4,969	繊維機械	1,869	希土類	724	タバコ	137	こっとう	16,051
	2位品目	乗用車	2,982	チタン、チタン製品	9,310	金属製品	15,225	綿花	7,390	繊維機械	2,636	綿花	1,858	建設機械	1,306	無機化合物	89	化学品	92	アルミニウム	4,123
	3位品目	電気機器	2,354	精製銅、銅合金	3,560	鉄鋼	13,366	-	-	食品	687	-	-	化学品	557	-	-	輸送用機器	91	-	-
2000年	1位品目	一般機械	17,235	フェロアロイ	67,582	電気機器 <sup>4)</sup>	9,352	金 (非貨幣用)	60,340	建設・鉱山用機械	36,571	綿花	688	電話機	2,918	希土類、水銀等	686	一般機械 <sup>3)</sup>	1,225	石油コークス、 石油残留物等	3,095
	2位品目	銅管	12,957	チタン、チタン製品	7,786	一般機械 <sup>5)</sup>	8,930	繊維製品	12,402	その他一般機械	8,935	-	-	タイヤ	401	履物	416	金属・同製品	113	動物	129
	3位品目	輸送用機器 <sup>3)</sup>	11,710	レアメタル <sup>4)</sup>	5,055	ゴム製品 <sup>6)</sup>	1,793	綿花	5,845	鉄鋼	2,184	-	-	金属・同製品	311	-	-	-	-	-	-
2005年	1位品目	乗用車	97,603	フェロアロイ	317,599	一般機械 <sup>7)</sup>	7,207	金 (非貨幣用)	93,877	建設・鉱山用機械	11,901	繊維製品	7	タイヤ	1,058	無機化合物	161	建設機械	702	こっとう	3,481
	2位品目	バス、トラック	22,031	チタン、チタン製品	11,344	ゴム製品 <sup>8)</sup>	5,805	無機化合物	18,524	その他一般機械	1,986	-	-	乗用車	592	アルミニウム	79	通信機器	384	収集品・標本	695
	3位品目	一般機械 <sup>5)</sup>	16,586	-	-	通信機器	5,464	-	-	-	-	-	-	再輸出、特殊取扱品	149	鉄鋼屑・再溶解用塊	40	ガラス	186	-	-
2010年	1位品目	乗用車	114,867	フェロアロイ	564,077	バス、トラック	22,575	金 (非貨幣用)	170,799	タイヤ	7,718	植物性原材料	112	乗用車 <sup>3)</sup>	22,302	無機化合物	96	乗用車	367	アルミニウム	25,734
	2位品目	バス、トラック	19,870	チタン、チタン製品	13,853	バス、トラック 用シャーシ	18,276	-	-	鉄鋼	6,036	繊維製品	83	タイヤ	6,391	一般機械 <sup>4)</sup>	46	再輸出、特殊取扱品	192	-	-
	3位品目	建設・鉱山用機械	16,272	-	-	タイヤ	13,028	-	-	一般機械	4,837	-	-	再輸出、特殊取扱品	2,813	動物性原材料	19	電気機器	185	-	-
2012年	1位品目	乗用車	319,546	フェロアロイ	539,230	バス、トラック	44,520	金 (非貨幣用)	105,617	建設・鉱山用機械	33,145	航空機類	10	乗用車 <sup>5)</sup>	42,760	非鉄金属	602	プラスチック	3,979	アルミニウム	10,043
	2位品目	銅管	57,796	チタン、チタン製品	14,370	バス、トラック 用シャーシ	18,887	-	-	電気機器	26,149	-	-	建設・鉱山用機械	17,375	精密機器類	318	電気機器 <sup>4)</sup>	1,680	-	-
	3位品目	建設・鉱山用機械	45,889	-	-	タイヤ	14,494	-	-	鉄鋼	11,141	-	-	再輸出品	3,185	-	-	一般機械	679	-	-
2013年	1位品目	乗用車	388,972	フェロアロイ	535,876	バス、トラック	51,688	金 (非貨幣用)	99,066	建設・鉱山用機械	18,193	衣類	31	乗用車 <sup>6)</sup>	77,444	非鉄金属	639	食品	352	甘草液汁・エキス	1,108
	2位品目	銅管	110,904	原油及び粗油	56,565	バス、トラック 用シャーシ	17,298	-	-	繊維機械	13,951	-	-	原料別製品	8,577	バッグ類	77	輸送用機器 <sup>5)</sup>	287	-	-
	3位品目	建設・鉱山用機械	49,394	非鉄金属	40,463	タイヤ	11,278	-	-	タイヤ	7,303	-	-	再輸出品	8,060	-	-	電気機器	230	-	-

(出所)日本の財務省発表の貿易統計に基づき、(一社)ロシアNIS貿易会作成。

# 日本と中央アジアの経済関係：支援＞貿易投資

- 数量、品目ともに不安定な貿易

*Cf: 例外的存在のカザフスタン*

- 対発展途上国型：原料輸入、工業製品輸出
- 資源輸入（フェロアロイ、金）
- 輸出の一時的増減←ODA関連輸出
- 経済支援における突出した存在感
- 貿易・投資相手国としての地位の低さ



トップドナーだがビジネスパートナーではない 日本

# 日本の政府開発援助

第1表 中央アジア諸国に対する主要援助国・機関(1999～2000年平均/\$100万)

	カザフスタン	ウズベキスタン	トルクメニスタン	キルギス	タジキスタン
第1位	日本/75	日本/82	米国/7.9	日本/55	IDA/29
第2位	米国/51	米国/27	アラブドナー/6.3	ADB/51	IMF/26
第3位	ドイツ/12	EC/13	EC/3.8	IDA/37	米国/22
第4位	EC/9	ドイツ/9	日本/1.4	米国/27	EC/16
第5位	ADB/6	フランス/3	UNDP/0.9	IMF/23	ADB/11

(出所) OECDのHP (<http://www1.oecd.org/dac/images/AidRecipient>) より。

第2表 中央アジア諸国に対する主要援助国・機関(2004～2008年累計/\$100万)

	カザフスタン	ウズベキスタン	トルクメニスタン	キルギス	タジキスタン
第1位	米国/394.69	日本/277.75	米国/19.40	米国/234.43	米国/242.35
第2位	日本/303.01	米国/182.42	CEC/8.76	ADB/192.00	IDA/182.38
第3位	ドイツ/93.38	ドイツ/99.04	UNDP/5.80	IDA/156.93	ADB/172.47
第4位	CEC/55.67	IDA/53.79	ドイツ/5.72	CEC/106.23	CEC/138.26
第5位	フランス/11.86	CEC/45.85	UNICEF/5.51	ドイツ/105.53	スイス/62.04

(出所) 外務省国際協力局『政府開発援助国別データブック2010』(2011年)より。原出所はOECD。

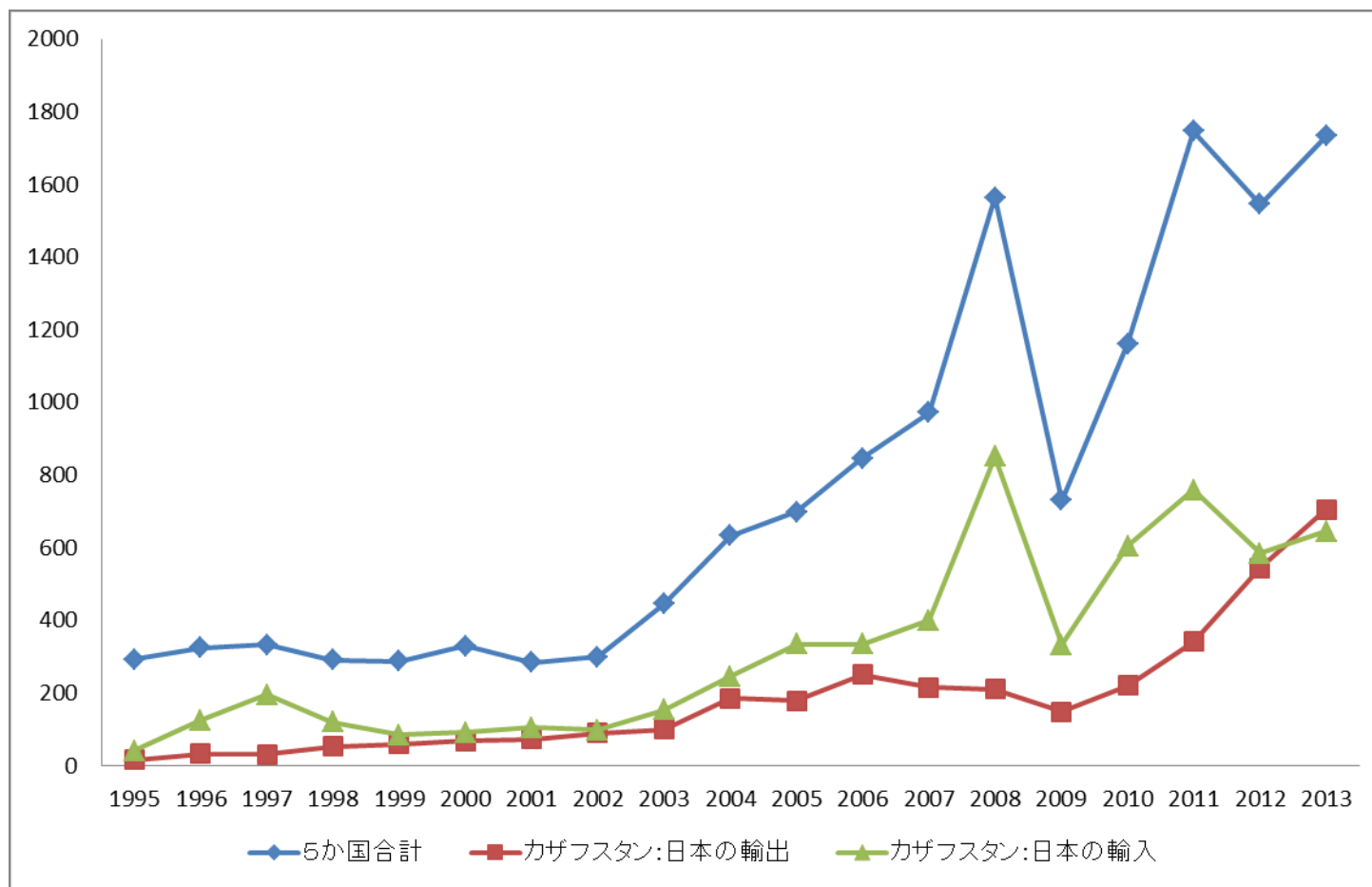
# 2000年における中央アジア諸国の主要輸出入相手国

	カザフスタン				トルクメニスタン				キルギス				タジキスタン			
	輸出	シェア (%)	輸入	シェア (%)	輸出	シェア (%)	輸入	シェア (%)	輸出	シェア (%)	輸入	シェア (%)	輸出	シェア (%)	輸入	シェア (%)
1位	ロシア	19.5	ロシア	48.7	ロシア	41	ロシア	14	ドイツ	28.7	ロシア	23.9	ロシア	33.0	ウズベキスタン	27.5
2位	英領バ ミューダ 諸島	14.9	ドイツ	6.6	イタリア	16	トルコ	14	ウズベ キスタン	17.7	ウズベ キスタン	13.5	オランダ	22.7	ロシア	15.6
3位	英領 バージン 諸島	11.6	米国	5.5	イラン	10	ウクライ ナ	12	ロシア	12.9	カザフス タン	10.4	ウズベ キスタン	12.5	ウクライ ナ	12.5
4位	イタリア	9.8	英国	4.3	トルコ	7	UAE	8	中国	8.7	米国	9.7	スイス	9.2	カザフス タン	12.2
5位	中国	7.3	イタリア	3.1	ウクライ ナ	7	日本	8	スイス	6.8	中国	6.7	トルコ	7.4	アゼル バイジャ ン	9.3
日本の順位 とシェア	38位	0.1	8位	2.1	...	...	5位	8	32位	0.1	11位	1.9	50位外	—	28位	0.1

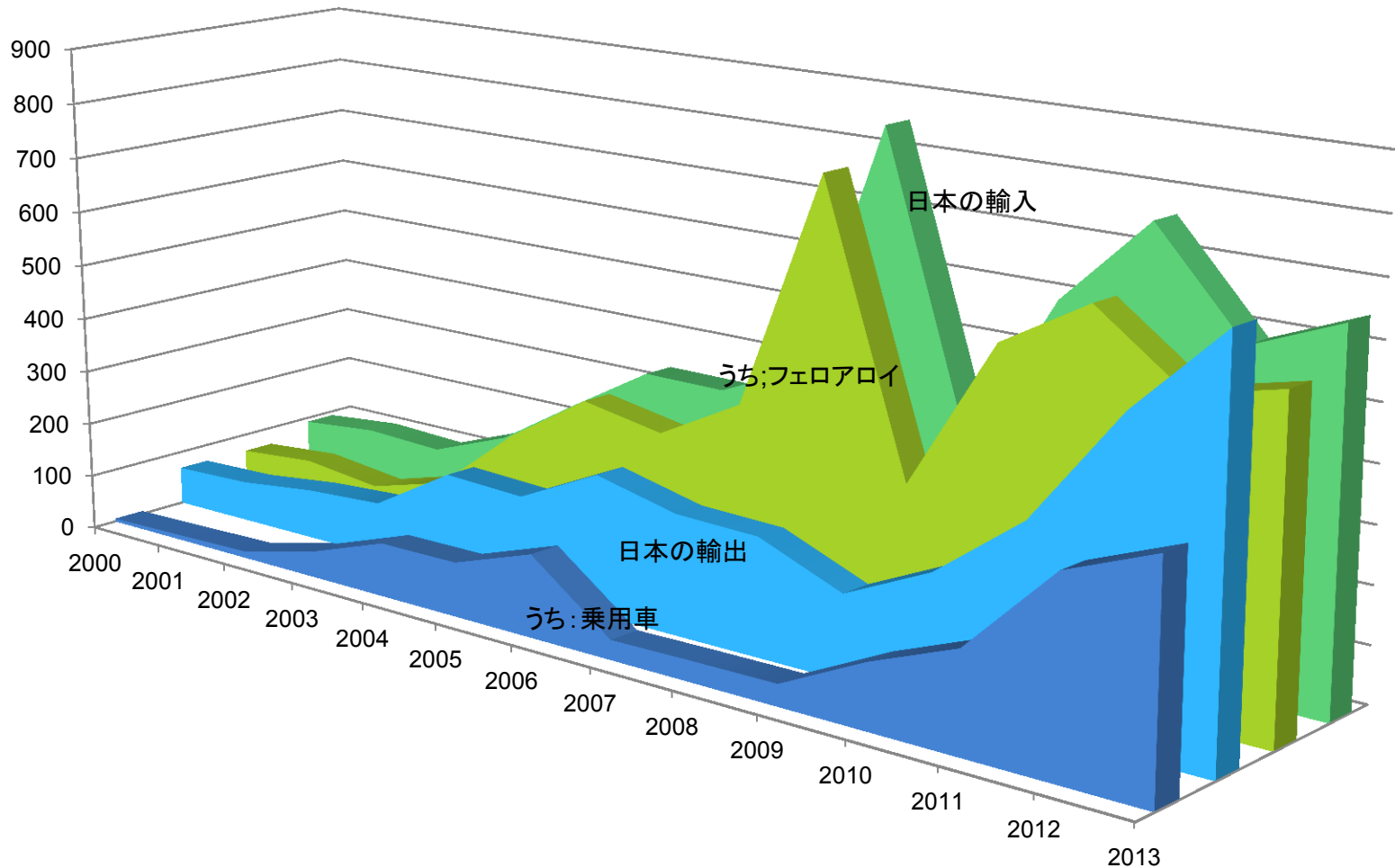
(出所) CIS統計委員会『CIS諸国の対外経済活動』(2002年)、トルクメニスタン国家統計・情報国家研究所『2001年1月のトルクメニスタンの社会・経済情勢』(2001年)。



# 1995年以降の日本と中央アジア諸国の貿易総額の推移と対カザフスタン貿易



# 日本とカザフスタンの輸出入動向



# 近年における変化:1

- **経済成長⇒市場**としての評価

- **自動車(新車)輸出の増加**

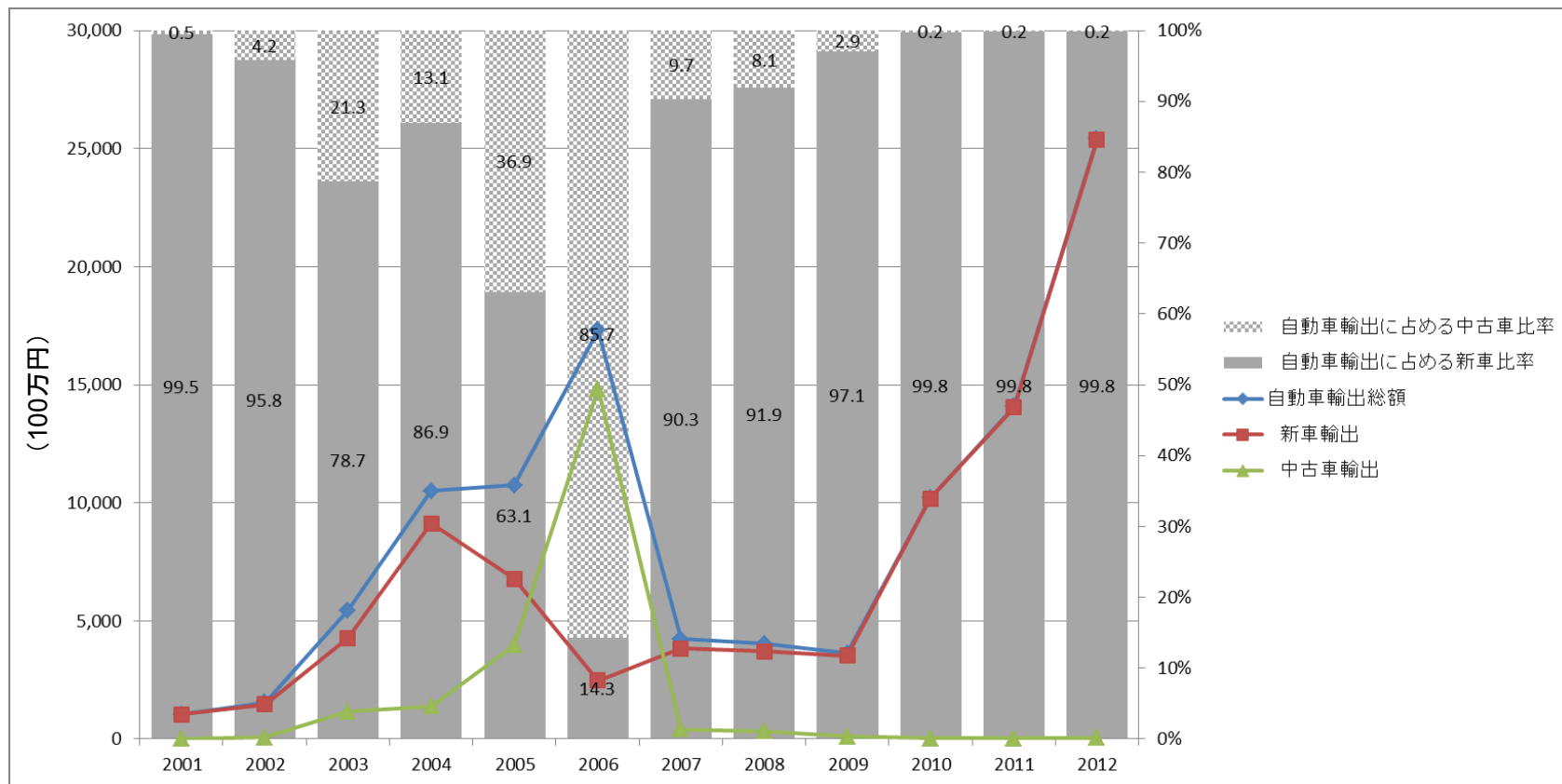
(参考)

- ✓ウズベキスタン向けバス・トラック
- ✓キルギス向け中古車

- **日本企業進出例**

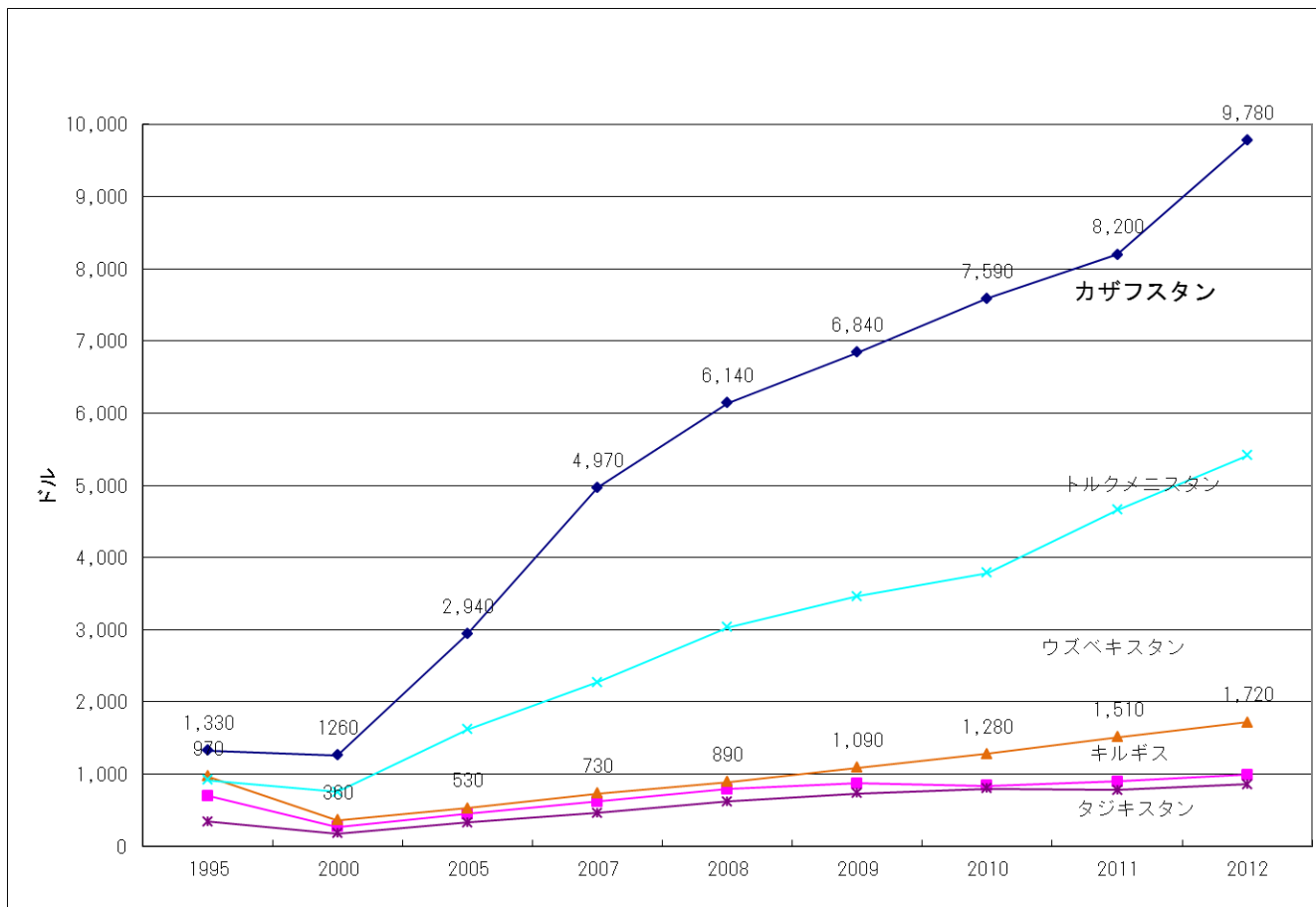
- 旧ソ連圏初のコンビニ進出:ミニストップ(カザフ、'13.1)
- トヨタ自動車現地生産開始 (カザフ、'14春予定)

# 日本の対カザフスタン乗用車輸出と 新車・中古車内訳



# 近年の中央アジア諸国の経済動向

(中央アジア諸国の国民1人当たりGNIの推移 ドル)



(出所)世銀データ、1995年の値はGNP。

# 近年における変化:2

## ・国際情勢⇒資源供給源としての重要性

### 1. 地球温暖化対策⇒原子力リネサンス⇒ウラン

- ✓07年の甘利経産相訪問:日本の総需要の30~40%相当のウラン  
権益確保⇒複数のウラン開発合併設立(カザフ)
- ✓10年3月 日・カザフ原子力協定締結、翌5月発効  
⇒11年3.11 東日本大震災後の状況変化
  - ✓ カザフ側の原子力推進姿勢は変わらず:2014年第1四半期末  
までに、政府は原子力発電所と4つ目の製油所の立地、財源、  
及び建設スケジュールについて合意しなければならない。  
(大統領2014年頭演説)
  - ✓ 日・カザフスタン首脳会談(於:ハーグ)

### 2. 尖閣諸島問題⇒中国からの供給不安定化 ⇒レアアース・レアメタル

- ✓10年以降、カザフでウラン残滓からの回収合併が複数設立

# 日・カザフスタン首脳会談

(2014.3.24 於:ハーグ/核セキュリティ・サミット)



カザフスタン共和国のナザルバエフ大統領と握手する安倍総理  
(写真提供:内閣広報室)

## 2 経済関係強化

- (1) 安倍総理から、2050年までに先進30カ国入りを目指すカザフスタンに対し、人材育成や高度技術といった日本が得意とする分野でカザフスタンの発展に役立っていきたい旨を述べました。
- (2) ナザルバエフ大統領からは、最近の日本との間では様々な分野、例えばウラン、レアメタル、製造業といった分野での経済関係の進展を歓迎するとともに、原子力分野を含め協力を一層深化させたい旨の発言がありました。
- (3) **原子力発電所の建設への協力について、安倍総理から、福島の実験を踏まえた安全性の高い技術の提供など、日本からの支援について言及しました。これに対して、ナザルバエフ大統領からは、日本の技術に対する高い関心が示されました。**

(外務省HPより: [http://www.mofa.go.jp/mofaj/erp/ca\\_c/kz/page4\\_000415.html](http://www.mofa.go.jp/mofaj/erp/ca_c/kz/page4_000415.html))

# 近年のカザフスタンの主要輸出入相手国構成(%)

	2000		2005		2010		2011		2012	
	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入
1	ロシア(19.5)	ロシア(48.7)	スイス(19.8)	ロシア(38.0)	中国(17.0)	ロシア(38.3)	中国(18.5)	ロシア(41.4)	イタリア(17.7)	ロシア(36.6)
2	バミューダ諸島(14.9)	ドイツ(6.6)	イタリア(15.0)	ドイツ(7.5)	イタリア(16.1)	中国(13.0)	イタリア(17.1)	中国(13.6)	中国(16.5)	中国(16.1)
3	英領ヴァージン諸島(11.6)	米国(5.5)	ロシア(10.5)	中国(7.2)	ロシア(8.5)	ドイツ(6.1)	ロシア(8.4)	ドイツ(5.6)	オランダ(8.4)	ドイツ(8.3)
4	イタリア(9.8)	英国(4.3)	フランス(9.6)	米国(6.9)	フランス(7.4)	イタリア(5.2)	オランダ(7.5)	ウクライナ(4.7)	ロシア(7.1)	ウクライナ(6.3)
5	中国(7.3)	イタリア(3.1)	中国(8.7)	ウクライナ(4.9)	オランダ(7.0)	ウクライナ(4.5)	フランス(6.2)	米国(4.6)	フランス(6.5)	米国(4.6)
6	ドイツ(6.2)	中国(3.0)	イラン(3.2)	イタリア(3.9)	オーストリア(4.2)	米国(4.3)	スイス(5.6)	イタリア(3.1)	オーストリア(5.7)	イタリア(2.1)
7	スイス(5.3)	トルコ(2.8)	ドイツ(3.2)	日本(3.5)	カナダ(4.1)	英国(2.4)	オーストリア(4.4)	ウズベキスタン(2.1)	スイス(5.7)	韓国(2.1)
8	ウクライナ(2.9)	日本(2.1)	米国(2.4)	英国(2.4)	ドイツ(2.9)	トルコ(2.0)	ウクライナ(3.0)	トルコ(2.0)	カナダ(3.6)	日本(2.0)
9	オランダ(2.6)	韓国(1.6)	イスラエル(2.4)	トルコ(2.3)	英国(2.3)	日本(1.8)	カナダ(3.0)	フランス(1.9)	ルーマニア(3.5)	トルコ(1.7)
10	英国(2.5)	ウクライナ(1.6)	英領ヴァージン諸島(2.0)	フランス(1.7)	ルーマニア(2.2)	韓国(1.7)	トルコ(2.9)	日本(1.7)	トルコ(3.1)	ウズベキスタン(1.7)
-	30以下/日本(0.1)		26/日本(0.5)		22/日本(1.2)		20/日本(1.2)		20/日本(0.6)	

(出所)カザフスタン共和国統計庁 『2012年版カザフスタン統計年鑑』(2013)、同『2007～2011年のカザフスタンの外国貿易』(2012)、同『2006年版カザフスタン統計年鑑』(2006)、同2001年版(2001)。



# カザフスタンへの主な直接投資国と日本の順位

順位	2000年			2005年			2010年			2011年			2012年		
	国名	FDI (100万ドル)	比率(%)	国名	FDI (100万ドル)	比率(%)	国名	FDI (100万ドル)	比率(%)	国名	FDI (100万ドル)	比率(%)	国名	FDI (100万ドル)	比率(%)
1	米国	993.5	36.1	オランダ	1,534.2	23.91	オランダ	5,762.7	33.21	オランダ	8,945.9	42.13	オランダ	8,510.0	31.51
2	英国	464.2	16.9	米国	1,125.5	17.54	フランス	1,507.6	8.69	フランス	1,546.3	7.28	中国	2,374.3	8.79
3	イタリア	351.0	12.8	フランス	774.7	12.07	中国	1,221.6	7.04	中国	1,161.8	5.47	スイス	2,007.0	7.43
4	CIS諸国*	174.9	6.4	リベリア	335.9	5.24	英国	1,025.7	5.91	ロシア	1,059.9	4.99	米国	1,981.4	7.34
5	カナダ	144.9	5.3	日本	331.4	5.16	英領ヴァージン諸島	712.5	4.11	米国	1,039.3	4.89	英国	1,285.1	4.76
6	オランダ	109.9	4.0	イタリア	306.6	4.78	ロシア	634.6	3.66	英国	920.9	4.34	フランス	1,164.2	4.31
7	中国	87.0	3.2	英領ヴァージン諸島	268.7	4.19	イタリア	609.8	3.51	英領ヴァージン諸島	665.7	3.14	ベルギー	856.8	3.17
8	ドイツ	68.8	2.5	カナダ	262.5	4.09	日本	603.3	3.48	日本	621.9	2.93	イタリア	815.9	3.02
9	インドネシア	68.1	2.5	ロシア	223.0	3.48	スイス	479.4	2.76	カナダ	572.7	2.70	ロシア	748.9	2.77
10	韓国	56.8	2.1	中国	195.0	3.04	カナダ	436.5	2.52	イタリア	449.7	2.12	カナダ	742.6	2.75
-	日本(14位)	18.1	0.7										日本(14位)	471.5	1.75
投資総額		2,751.5			6,416.4			6,416.4			21,232.9			27,007.0	

(出所)カザフスタン共和国統計庁 『2012年版カザフスタン統計年鑑』(2013)、同『2007～2011年のカザフスタンの外国貿易』(2012)、同『2006年版カザフスタン統計年鑑』(2006)、同2001年版(2001)。

# 日本とカザフスタンの経済関係： ～さらなる発展への展望～

- **製品市場・資源供給源(貿易・投資相手先)として存在感の増すカザフスタン だが…**
  - **限定的ビジネスプレーヤー：双方とも大企業中心**
  - **ニーズのミスマッチ：資源分野に偏重しがちな日本の投資vs 技術導入・製造業育成を望む現地**



**⇒拡大基調の維持、互恵的關係構築は可能か？**

# 経済関係発展への取り組み： すそ野拡大への努力（1）

- **両国政府による投資環境整備への取り組み**
  - 租税条約(08年12月調印、09年12月発効)
  - 原子力協定(10年3月調印、11年5月発効)
  - 投資協定(10年3月交渉開始、13年2月実質合意)
- **日本カザフスタン経済官民合同協議会の発足**
  - 日本カザフスタン経済委員会(93年12月設立、現在会員数14社)
    - ✓ 大企業、商社中心
    - ✓ 構成のアンバランスさ：日本側民、カザフ側官
  - **経済官民合同協議会**
    - ✓ 09年10月 第1回日本カザフスタン官民合同協議会開催
    - ✓ 12年05月 枝野経産大臣、カザフスタン訪問、METIとMINT協力覚書、「経済・投資関係促進ロードマップ」
      - ※(記載の)プロジェクトは、日本カザフスタン官民合同協議会において、その円滑な進行のために両国の関係機関・企業が可能な支援を行うべき二国間の経済・投資関係促進プロジェクトとして認識される。
    - ✓ 13年02月 第4回協議会にイセケシェフ副首相兼産業新技術相出席
    - ✓ 2014年内に現地にて第5回開催予定

# 経済関係発展への取り組み： すそ野拡大への努力（2）

- 日本カザフスタン投資環境整備ネットワーク(11年3月)
  - 情報提供拡大、交流促進による新規プレイヤーの発掘
  - <http://www.jp-kz.org/index.html>
  - カザフ側パートナーとの連携強化が課題



**キーワードは中小企業**

☆日本からの中小企業参入促進

☆カザフスタンにおける中小企業育成への協力

# 互恵的関係構築への取り組み： カザフ経済政策との調和(1)

- **継続される資源依存脱却への取り組み：イノベーション推進**
- **「カザフスタン2050」(12.12)**
  - 2050年までに世界の先進30か国入りを果たす
  - 炭化水素資源の大型プレーヤーでありつつ、代替エネルギー生産を発展させる：2050年までに国内消費エネルギーの半分以上を代替あるいは再生可能エネルギーに
  - **原料供給から、エネルギー資源加工分野・先端技術交流へ**

「我々は、最新の採掘・加工技術を我が国に提供する条件に限り、投資を誘致すべきです。我々は、我が国に最新生産設備を建設するという交換条件においてのみ、投資家に我が国の原料の採掘および利用を許可すべきです。」(カザフスタン2050 III-6 天然資源管理の新システム より)
  - **課題は高度技術導入による産業多角化**

# 互惠的関係構築への取り組み： カザフ経済政策との調和(2)



キーワードは**先端技術**、“**グリーンテクノロジー**”

☆欧米でもロシアでも中国でもない日本：

戦略的パートナーシップの構築

☆高度技術への関心をビジネスチャンスに